

総合情報メディアセンターNEWS

2022年 1月

第13巻 第4号

新学術情報ネットワーク「GUNet2022」について聞く

昨今、大学のインフラに求められる機能は多様化しています。ネットワークの高速化、堅牢なセキュリティ、利便性の向上、安定稼働するシステム（災害対策、DX、自動化）など、多種多様です。大学のネットワークは、教育研究を支える上で重要なファクターの一つとなっており、このような背景の中、群馬大学総合情報メディアセンターでは、「GUNet2022」と称して2022年4月より新学術情報ネットワークの運用を開始します。今回は「GUNet2022」について、構想から調達、設計を担当されている浜元准教授にお話しを伺いました。（聞き手：小川康一）

—これまでの学術情報ネットワークの問題点や課題を教えてください。

前回の学術情報ネットワークの導入は2016年で6年が経とうとしています。10年利用している機器もあり、設備が老朽化しているため、インフラとしての信頼性に問題が生じつつあります。ネットワークの構造上、障害に弱い部分もありました。例えば、地区間の回線が冗長化されてないため安定性に不安があったことです。また、コロナ禍でネットワーク利用に変化があり、安定性や学外利用に対して、より厳しい要件が求められるようになった点も問題です。



—コロナ禍でインフラの利用実態にどのような変化がありましたか？

学内ネットワークの利用自体は入構制限などであまり多くはありませんでした。しかし、講義や会議をZoomやTeamsで実施するなど、オンラインでの利用が増え、大学のネットワークは本当の意味での“インフラ”となってきていて、ネットワークをメンテナンスで停止することがかなり難しくなってきました。その実感が運用管理をしていてすごいです。

—今回の学術情報ネットワークの特徴について、ポイントを教えてください。

ポイントとしては、①高速②安定③安全の3つです。まず、1番目の「高速」ですが、GIGAスクール導入に伴い、附属学校の取り組みを支えるためのインフラを高速化しました。また、ファイアウォールの性能を向上させました。次に、2番目の「安定」ですが、学外回線と地区間回線を二重化します。片方の回線が停止しても、ネットワークが使えなくなることはありません。また、機器の老朽化にも対応しました。一番大きい点ですが、プライベートIPアドレスの導入によりNAT（ネットワークアドレス変換）を利用する点です。クライアントPCがインターネットから直接参照できなくなりますので、3番目の安全にもつながります。そして、3番目の「安全」ですが、これまで網羅できなかった附属学校や太田地区にもネットワーク認証を導入します。また、ネットワークの単位であるサブネットを小規模化します。これはマイクロセグメンテーションと呼ばれている考え方です。

—プライベートIPアドレスを利用するとのことですが、実際はどのようなようになるのでしょうか？

特に利用者は意識することはないと思います。ただ、プリンタやストレージなどで、固定IPアドレスを設定されている方は変更が必要になります。また、サブネットを小規模化し、研究室等の組織単位に分けて管理することになります。これには順次移行が必要となります。その点は利用者の皆様にご協力をいただかなくてはなりません。詳しい内容につきましては、学内説明会を予定しています。



—GUNet2022によって、利用者はどのような恩恵を得られるのでしょうか？

先ほどもご説明した通り、ネットワークは今にも増して安定して利用可能になります。また、新しいネットワークの設計により、万一ネットワーク内に脅威が持ち込まれても、ネットワーク同士が安易に通信できませんので、学内全体への被害の拡大を食い止めることができます。また、新しいファイアウォールにより不正な通信をブロックする精度も上がり、より安全な環境で快適にネットワークを利用できると思います。

(2ページ目へ続く)

一群馬大学における今後のインフラについて、将来像をご教示ください。

例えば、本学の学外接続は10Gbpsですが、将来利用者でも10Gbpsで普通にネットワークを利用する時代が来ると思います。最近、10GBase-Tの製品が低価格になってきています。その時には対外接続回線は速くしないといけないかもしれません。また、利用者にとって使いやすいインフラを目指したいと思っています。それについては、新しい認証方式や監視方式などを継続して模索していきたいと思っています。

—本日はお時間ありがとうございました。

2022年3月にネットワークの切り替え作業が実施されます。利用者の皆様にはお手数をおかけ致しますが、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。また、プライベートIPアドレスの導入による新しいネットワークへの移行に関しても利用者の皆様にはご面倒をおかけいたしますが、ご協力のほどよろしくお願い致します。

学部学生の皆さん「学習サポートデスク」はどうでしょう

中央図書館において、昨年度はコロナ禍で実施を控えていた「学習サポートデスク」を復活しました。12月と1月の2か月という短い期間ではありますが、授業の履修方法や課題・レポートの進め方、PCの使い

方やプレゼンの指導、卒論のアドバイスなどなど相談可能ですので、学部学生の皆さん、お気軽にご相談ください！（詳細はWebページで。）

—中央図書館—

●実施日時：R3.12.1～R4.1.28の毎週
火・水・金16:00～18:00（休館日と1/14は除く）

（中央図書館 中屋恒一）

展示企画「マンガで読む医療の世界」を延長します

医学図書館では1階ロビーで開催中の「マンガで読む医療の世界」を1月31日（月）まで延長します。新着図書も入りました。新型コロナウイルスや感染症を題材にしたものもありますので、ぜひご覧ください。Webページにお知らせを掲載しています。

【新着図書の一例】

『永寿総合病院看護部が書いた新型コロナウイルス感染症アウトブレイクの記録』

OPACリンク→



『マンガでわかる!認知症の人が見ている世界』

OPACリンク→



—医学図書館—

『リウーを待ちながら』

OPACリンク→



（医学図書館 飯塚愛）



図書展示「防災考えてみませんか？」

防災準備は大変そうだと思いませんか？そんなあなたに、簡単でおしゃれな防災を提案します。

今回展示する図書は、スマホを使った防災、日常空間をおしゃれにできる防災、日頃からできる防災等々、気軽に防災を始められる初心者へ向けた図書を揃えました。

また、自分の技術を活かしたい方のために、ベランダでできるソーラーパネル、自分で作れる蓄電型発電所などの防災対策図書も揃えています。

あなたなりの防災対策をひとつでも試してみたら、いろいろ気になることがあるかもしれません。堅苦しく考えず、できることから始めてみませんか。

期間：1月5日（水）～3月11日（金）

場所：理工学図書館入口ロビー

（理工学図書館 森山沙織）

—理工学図書館—



第22回桐生楽講座—あなたの知らない(かもしれない)桐生— 「移住者+デザイナーから見た桐生の楽しみ方。」を開催します

—理工学図書館—

アトリエ兼ボードゲームカフェ「ふふふ」代表の和崎拓人氏を講師にお迎えします。デザイナーの和崎氏は、同じくデザイナーの奥様と夫婦で東京から桐生に移住され、2019年に「ふふふ」をオープンされました。本町通りに面したガラス張りの店舗で、様々なファッション関連のイベントも開催していらっしゃいます。どうして東京のデザイナーさんが桐生に?と思う方も多いのでは。なぜ桐生だったのか、桐生にどんな魅力を感じているか、そんなお話を

していただく予定です。当日はハイブリッドでの実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況により、実施方法を変更する場合があります。理工学部の学生・教職員は申込不要、そのほかの方は事前にお申込をお願いします。参加無料。
日時：1月17日(月) 15:30~16:30
場所：1階ラーニングcommons Ricomo ※オンライン(Zoom)でも配信予定です。
(理工学図書館 栢植久美子)



「令和3年度群馬大学書道部 新春書道展」を開催します

—中央図書館—

中央図書館ギャラリーにて、書道部学生と指導教員永由徳夫教授の作品展を開催します。今年もコロナ禍で課外活動が制限される中で、学生さんたちはオンラインも活用しながら書道に取り組み、作品を仕上げてきたそうです。それぞれの個性や、作品に込められた思いを感じながら、ぜひじっくりと鑑賞ください。

期間：1月28日(金)~2月18日(金) 16:00まで
場所：中央図書館1階ギャラリー

(中央図書館 山内可菜)

(昨年度の書道展の様子)



普段、書道作品に触れる機会がない方も、図書館に来たついでに立ち寄ってみてはいかがでしょうか。パソコンやスマホ画面にはない、筆文字の中に新鮮な発見があるかもしれません。

こんな使い方をしていませんか?

—医学図書館—

医学図書館では、時々このような使い方をされているのを目にします。設備の故障につながることもあり、他の利用者の迷惑にもなりますのでやめましょう。マナーを守って利用していただくようお願いします。※悪質なマナー違反にはペナルティを科す場合があります。

ので、自分の利用証を貸した。

①試験勉強を頑張っている先輩に、お菓子を差し入れた。

→利用証(学生証、職員証)を人に貸してゲートを通らせることや、一緒にゲートを通ることは図書館のセキュリティを侵害する行為です。無理やり通るとゲートの故障にもつながります。利用証を忘れたときはカウンターに言っていただければ対応しますので、声をかけてください。

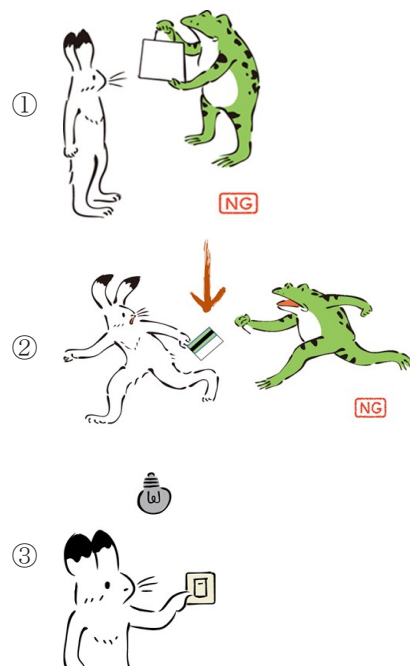
→図書館(ゲート)内は害虫やカビの発生から資料を守るため、食べ物の持ち込みは禁止です。図書館で食べ物の差し入れを渡すのはやめてください。※蓋付き容器の飲料に限り、持込可の席もあります。

③3階で集密電動書架を使ったが、勝手にスイッチが切れると思いそのままにしておいた。

②友達が学生証(=図書館利用証)を忘れて図書館に入れず困っていた

→自動ではスイッチは切れません。同列の他の書架が移動できなくなってしまうため、使い終わった書架のスイッチは消してください。RESETボタンを押して消灯しましょう。

(医学図書館 飯塚愛)



学生選書キャンペーンを開催しました

中央図書館では令和3年11月10日～12月10日の間、「学生選書キャンペーン2021秋-冬」を開催し、学生の皆さんから図書館に置いて欲しい本のリクエストを募集しました。リクエストにより購入した本の一部をご紹介します。

中央図書館の学生選書キャンペーンは例年前期・後期で各1回開催しており、ジャンルを問わず学生の皆さんが読んでみたい本、他の人にも読んでもらいたい本のリクエストを受け付けております。

キャンペーンの開催について図書館ホームページ、教務システムのお知らせに掲載しますので皆さんのご参加をお待ちしております。

また、学習・研究に必要な本は随時受け付けております。館内申込用紙またはMyLibraryの「希望図書購入依頼」からリクエストできますのでご利用ください。

(中央図書館 湯浅聖子)



『琥珀の夏』

辻村美月 著
文藝春秋



『“わたし”はどこにあるのか』

ガザニガ, マイケル・S 著
藤井 留美 訳
紀伊国屋書店



『コンテナ物語』
—世界を変えたのは「箱」の発明だった

レビンソン, マルク 著
村井 章子 訳
日経BPマーケティング



『問題解決大全』

—ビジネスや人生のハードルを乗り越える37のツール

読書猿 著



『Humankind希望の歴史 上・下』
人類が善き未来をつくるための18章

ルドガー, プレグマン 著
野中 香方子 訳
文藝春秋



『すばらしい人体』
—あなたの体をめぐる知的冒険

山本賢人 著
ダイヤモンド社

卒業生サービスについて

■図書館

開館時にはいつでも入館可能です。図書の閲覧に加え、本学で契約している電子ジャーナル、データベースのほとんどを館内から利用できます。「図書館利用証」の発行を受ければ、図書の貸出もできます。

なお、お近くの公共図書館から本学図書館の本を借りることもできます。

※新型コロナウイルス感染症により、利用可能サービスが通常と異なるため、最新の情報はWebサイトをご確認ください。

■全学Gmail

卒業後もメールアドレスは変わりません。本学からのメールをお送りすることがありますので、引き続きご利用ください。

■マイクロソフト包括ライセンス

Office 365をご利用していた方は卒業後、直ちに利用できなくな

ります。その他のソフトは利用できますが、新規インストール

ル・アップグレードはできません。

■トレンドマイクロ製品

卒業後は利用できなくなりません。直ちにアンインストールしてください。



群馬大学総合情報メディアセンター



荒牧地区：前橋市荒牧町4-2
昭和地区：前橋市昭和町3-39-22
桐生地区：桐生市天神町1-5-1

TEL (027)220-7170
FAX (027)220-7184



本コンテンツは、クリエイティブ・コモンズの表示-改変禁止 3.0 ライセンスのもとでライセンスされています。

Webサイト <https://www.media.gunma-u.ac.jp/>

図書館ブログ <https://blog.media.gunma-u.ac.jp/>

Twitter公式アカウント [@Media_Gundai](https://twitter.com/Media_Gundai)